



大分県漁業協同組合  
代表理事組合長

中根 隆文

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様、役職員各位に謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、地震や台風などの天災や長引く漁船漁業の不漁、さらには水産業を取り巻く制度改革への対応などに奔走した1年でした。

年始早々に発生し最大震度5強を記録した「日向灘地震」、9月に襲来し瞬間風速50mを超える暴風が続いた「台風14号」では、組合員が甚大な被害を受け、経営にも大きな影響が生まれました。県漁協としましても、いち早く被災地の状況を把握し、行政機関に対して救済を要請してまいりました。この結果、多くの議員の皆様のご尽力をいただき、迅速な行政対応と支援をいただくことができました。関係されたすべての皆様方に、改めて御礼を申し上げます。

水産業を取り巻く制度改革では、何といても5年度予算から対象となる会計監査人監査への対応が必要です。すでに減損処理や内部規程の整備等を進めていますが、監査工数を削減するための様々な取組が求められます。昨年12月1日に施行された水産物流通適正化法、本年10月に始まるインボイス制度への対応も重要です。また、今後の信用事業

の在り方についても、あらゆる選択肢を排除せずに検討してまいります。組合員のご理解とご協力、役職員の一層の取組をお願いいたします。

さて、本年は国東の種苗生産施設が完成します。令和6年秋に本県で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」の弾みとなるものであり、水産資源回復に向けた力強い第一歩を踏み出すものと期待が膨らみます。「海づくり大会」の関係では、リレー放流、1年前イベント等も開催されます。水産業を取り巻く厳しい環境である「災い」を転じて、大きな「福」を招き入れるよう、皆様とともに「海づくり大会」を盛り上げてまいりたいと存じます。

本年が豊かな年となりますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶と致します。本年もよろしくお祈り申し上げます。

JF大分

水産おおいた

発行元  
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

謹賀新年



大分県  
農林水産部長  
佐藤 章

新年明けましておめでとうございます。大分県漁業協同組合の役員並びに組合員の皆様方には平素から県水産業の振興に積極的に取り組んでいただき厚くお礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと引き続き新型コロナウイルス感

染症が社会生活に大きく影響を及ぼした一年でした。ワクチン接種による感染対策が進むなか、夏には第7波の感染拡大がありました。秋以降には全国旅行支援や外国人の入国緩和など、ウイズコロナのもと、社会経済活動の正常化が徐々に進みつつあるところです。一方、2月に始まったウクライナ侵攻や円安の影響によるエネルギー・物価高騰により、水産業でも燃油価格や資材、餌料価格が上昇するなど、新たな問題も生じています。

県では緊急対策として、省エネ型漁船用エンジンの積み替えに対する上乘せ補助のほか、電気代削減に繋がる陸上養殖での酸素発生器導入など、物価高騰に対して足腰の強い漁業・養殖業への転換に向けた取組を行っています。さらに、コロナ禍の中でも本県漁業・養殖業を持続的に発展させるため、生産・流通の両面から取組を進めていきます。まず、生産面では、デジタルツールを活用した資源評価の高度化を進めるとともに、資源管理の内容に応じて、段階的に放流

4面



議会・予算

5面



交流大会  
ひがた美人

6面



水研だより

種苗を上乘せすることにより、資源の維持・回復に努めます。建て替えを進めている漁業公社国東事業場が令和5年度に本格稼働する予定です。生産能力は2割増しとなり、キジハタなど新規魚種の生産も進めていきます。また、ブリ養殖ではモジヤコ不漁時の稚魚の安定確保や出荷端境期の解消のため、人工種苗の生産技術開発に継続して取り組みます。流通面では、外食需要の回復を見据え、県外の飲食チェーン店をターゲットに、県産魚の販売拡大に取り組みます。また、令和6年度の全国豊かな海づくり大会大分県大会に向けて、県内の機運醸成を進め、県産魚の消費拡大も進めることが重要になります。以上のような各種対策によって、水産業の成長産業化を進めて参りますので、皆様方の一層のご尽力とご協力を賜りますようお願い申し上げます。終わりになりましたが、本年が幸多き年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長

坂本 雅信

あけましておめでとうござい  
ます。年頭にあたり、全国の皆  
さまに謹んで新年のご挨拶を申  
しあげます。  
振り返りますと、昨年は、本  
会が皆さまに支えられ、創立7



農林中央金庫  
福岡支店長

久古 谷 卓 治

新年明けましておめでとう  
ございます。

大分県漁業協同組合の役員  
ならびに組合員の皆様方におか  
れましては、輝かしい令和5年の  
新春をお迎えのことと心からお  
慶び申しあげます。

0周年を迎えた記念すべき年  
でありました。改めてこれまでの  
会員各位のご協力に深謝申し上  
げます。

漁業を取り巻く環境は、新型  
コロナウイルスの感染拡大、海洋  
環境変化に起因する特定魚種  
における不漁、国際情勢の変化  
に伴う燃油・資材等の価格高騰  
など、依然として厳しく、JF全  
漁連会長就任以降、これらの諸  
課題に対応するため、JFグル  
ープの先頭に立ち、対策の確立  
などを関係要路に強く要請し  
ました。その結果、要望事項を  
網羅するかたちで、5年連続で  
3000億円を超える予算を確  
保することができました。

また、私ども農林中央金庫の  
業務につきましても、日頃から  
格別のご支援・ご協力を賜り、  
厚く御礼申しあげます。

昨年ウクライナ危機の顕在  
化、根強い感染力を持つ新型コ  
ロナウイルスにより国内外の経済  
や日常生活に大きな影響を及  
ぼした一年でした。水産業界に  
おいても資材価格の高騰、海洋  
環境の変化に伴う記録的な不  
漁、台風等の災害も頻発してお  
り、大変厳しい状況でありまし  
た。

このような中、大分県漁業協  
同組合におかれましては、総合  
事業体として、外部環境の変化

また、昨年は新たな水産基本  
計画がスタートした年でもあり  
ます。本計画は、「海洋環境の変  
化も踏まえた水産資源管理の  
着実な実施」、「増大するリス  
クも踏まえた水産業の成長産業  
化の実現」、「地域を支える漁村  
の活性化の推進」を柱に、「海業  
」などの展開も位置づけられま  
した。現在、全国の浜では、その  
実現に向け、漁業者およびJF  
グループが丸となつて、創意  
工夫ある取り組みを実施してお  
り、本会は引き続きこれらの活  
動をサポートして参ります。

私は会長に就任してから「日  
本の漁業にはポテンシャルがあ  
る」ということをさまざまに機  
能により影響を受けた組合員・漁  
業者に寄り添い、資金ニーズ等へ  
の相談対応を継続いただいてお  
りますこと、改めて皆様のご尽  
力に感謝を申し上げます。

さて、JFマリンバンク運営に  
目を向けますと、令和5年度は  
JFマリンバンク中期戦略期間の  
最終年度として、漁業・漁村・資  
源管理に資する施策の拡充、漁  
業金融アプローチ活動や経営相  
談機能強化による融資伸長、不  
祥事未然防止対策の強化やマ  
ネーロンディング・テロ資金供与  
対策への着実な対応による健全  
性の確保など、各種施策に取り  
組む予定です。

大分県漁業協同組合におかれ  
ましては、本年も、法令改正を  
踏まえつつ、会計監査人監査への  
円滑な移行対応、信用事業の具  
体的なあり方の検討を深化さ  
せることも含め、末永く続いて  
ゆく漁協経営の礎を築くうえで  
大変重要な年にならうかと存  
じます。

このほか、JFグループの運動  
に申しあげて参りました。日  
本の漁業はもとも豊かな海に  
囲まれた中で生まれた産業であ  
り、多種多様な魚が日本の食文  
化を支えてきました。我々は、  
今後も将来にわたつて、この資源  
をより有効に活用し、国内外の  
多くの人たちに全国の浜に出か  
けていただき、日本の水産物を  
食べていただけるような取り組  
みをサポートして参る所存で  
す。併せて、プライドフィッシュ  
プロジェクトや産直通販サイト  
「JFおさかなマルシェギョギョ  
い」などを通じて、国産水産物  
の消費拡大の一翼を担って参り  
ます。

先行きが不透明な状況下にお  
いて、私ども農林中央金庫とい  
たしまして、大分県漁業協同  
組合の皆様との連携を深め、金  
融機能のみならず、水産物等の  
販路拡大といった非金融面にお  
いても、絶え間ないご支援がで  
きるよう努力してまいります  
と存じます。

最後に申し上げますが、皆様方  
にとつて本年が実りの多い年  
にしまして年頭のご挨拶とさせ  
ていただきます。

方針に則り、担い手育成、合併  
等組織再編、産地市場統合、販  
売事業改革、浜・プランの後押し  
などに取り組み、浜の構造改革  
を実現して参ります。

東京電力福島第一原子力発  
電所におけるALPS処理水の  
問題については、「全国の漁業  
者・国民の理解を得られないA  
LPS処理水の海洋放出に反  
対」という立場に変わりありま  
せん。我々が国に対して求めて  
いた5つの要望に対する回答の  
1つである超大型基金が昨年度  
補正予算で措置されましたが、  
引き続き、残る4項目の申し入  
れ事項である漁業者・国民への  
説明、風評被害対策、ALPS  
処理水の安全性の担保等につい  
て、国に真摯な対応を求めて参  
ります。

JFグループ関係者の皆さま  
におかれましては、これまで以  
上に英知と総力を結集していた  
だき、本会の活動に対して、引  
き続きのご協力・ご賛同を頂き  
たくお願い申しあげます。

最後となりますが、漁業の豊  
かな将来を念じつつ、全国各地  
でご活躍の皆様様の操業の安全と  
ご繁栄・ご健勝を祈念し、新年  
のご挨拶といたします。

# 恭賀新春



大分海上保安部長  
山本雅司

新年明けましておめでとございます。

大分県漁業協同組合の役員並びに組合員の皆様におかれましては、平素から海上保安業務に対して、格別なるご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年は年明け早々から新型コロナウイルスが猛威を振るいましたが、年末にかけて感染状況が落ち着きをみせていることで、比較的平穏な新年を迎えることができました。

大分海上保安部では、感染防止のため巡視船一般公開などのイベントを縮小してきましたが、ようやく県民の皆様と関わり合えることができる貴重な機会を再開できるものと思っております。

今月は、大分県漁業協同組合の皆様とともに取り組んでいる「漁船無事故チャレンジ100in OITA」の認定式も予定されています。私は、皆様が安全操

業の下で獲られたおいしい大分県のお魚を県内外の方々へお届けして一人一人が笑顔になり、大分県の水産業界を益々活発にして欲しいと願っています。そのためにも、本年も私共はできる限り安全面でのサポートをしていきますので、安全を第一に操業等に取り組んでください。

大分海上保安部は、本年も地域の安全・安心の確保のために更に尽力する所存です。引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。結びに、皆様のご健勝並びに豊漁を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

全国合同漁業共済組合  
大分県事務所長

福島 堅太郎

全国共済水産業協同組合  
大分県事務所長

中根 隆文



日本漁船保険組合  
大分県支所運営委員長

森崎 真吾

全国漁業信用基金協会  
大分支所長

牧 敏弘

# 県議会 第4回定例会

## 水産関係質疑応答

県議会は11月28日に第4回定例会を開会、12月5日から3日間一般質問を行った。

清田哲也氏(自民党・佐伯市)は6日、水産業の将来展望について知事の見解を質した。また、阿部長夫氏(自民党・杵築市)は7日、全国豊かな海づくり大会による水産業の振興について聞いた。



清田哲也議員

### 水産業の将来展望について

#### 【質問】清田議員

「佐伯の殿様、浦でもつ」と言われ古来より漁業が経済活動の支えである佐伯市だが、近年巻き網等の不漁で漁船漁業の経営は厳しさを増している。一方、生産量全国第1位のヒラメや第

2位のブリ等の養殖業は本県水産業の柱であるが、モジヤコの不漁や赤潮対策など解決すべき課題も残されている。

水産業の振興を図るためには漁船漁業と養殖業を車の両輪のように発展させるべきと考えますが、本県水産業の将来展望について知事の考えを伺う。

#### 【答弁】広瀬知事

本県水産業を将来に亘り発展させるため、漁船漁業と養殖業のそれぞれの課題の解決に向け3点に取り組み。

漁船漁業では水産資源の減少が課題であり、ICTを活用した資源評価と漁獲管理、機能強化した漁業公社を活用した種苗放流、藻場造成による環境整備などを一体的に進める。

養殖業では需要が増す産地加工の促進やモジヤコ人工種苗の生産技術開発に取り組み。先の台風14号で被災した後継者には、事業が継続できるような補正予算を提案した。

さらに流通対策として、外食需要の回復を見据え、パートナーシップを量販店から飲食店に拡大し、輸出も含め販路と消費の拡大に努める。



阿部長夫議員

### 全国豊かな海づくり大会による水産業の振興について

#### 【質問】阿部議員

10月3日に実行委員会が設立され、大会の基本方針、基本理念及び会場が決定した。43年ぶりに本県で開催される栄えある大会を、開催地だけでなく県民総参加で盛り上げ、成功させる方策について伺う。

#### 【答弁】佐藤農林水産部長

杵築市農林水産祭など県下各地で開催されるイベント、来年度の1年前プレイベント、内陸部の河川等でも行うリリース放流や水産教室等を通じて、水産振興や魚食普及について広く県民に発信する。

大会当日は、開催地とリモートで結ぶ関連行事も開催するなど、県全体の水産振興に繋がる大会とする。

## 国の水産予算は 3,208億円

本年度補正と合わせ～23日閣議決定～

これにより、漁業者の減収を補填する積立ぶらす、漁業経営セーフティーネット等の経営安定対策、リース事業による競争力強化等が拡充された一方、資源調査・評価は減額された。

### 県の当初予算は骨格編成

農林水産部は463億円要求

「養殖ブリ加工施設整備事業」(新規)は、増加する加工ニーズに対応し、ブリ類養殖業の経営安定化と成長産業化を図るため、当漁協が実施する養殖ブリ類の産地加工処理施設の整備を支援するもの。17億6690万円を要求している。

「白杵干潟アサリ復活プロジェクト事業」(地域枠)は、白杵干潟の天然稚貝の保護育成により母貝団地を造成するとともに、多様な主体の協働による干潟の再生に取り組むもの。518万円余を要求している。

## 台風被災者支援へ

補正 予算

14日、第4回定例会県議会は12月補正予算案等を可決して閉会した。この予算には、台風14号により被災した漁協組合員への支援等が盛り込まれ、当漁協の要望が実現した。

「ブリ類養殖業経営継続緊急支援事業」(新規)は、台風14

号と赤潮の影響により大きな被害を受けた本県ブリ類養殖業の再生を図るため、事業再開に取り組み事業者に対し、今期出荷予定の養殖魚の死亡に伴う減収に対する支援を行う。

標準的な出荷額の9割と養殖共済金額との差額に対し助成する。補助率は2/3(県1/3)。

また、「陸上養殖業省エネルギー化緊急支援事業」(新規)は、電気料金高騰下におけるヒラメ等の陸上養殖業者の経営安定を図るため、省エネにつながる酸素発生器の導入を支援する。

補助率は2/3(県1/3)で、県費3500万円が計上された。

市1/3)で、県費2798万円が計上された。

# 中津干潟プレミアムオイスター ひがた美人 旬入り



奥塚市長に手渡す  
中根組合長



乾杯を前に挨拶する  
田中運営委員長

本年も「ひがた美人」が旬を迎えた9日、県漁協中津支店で旬入りセレモニーを行った。  
中根組合長の主催者挨拶、奥塚正典中津市長らの来賓祝辞に次いで手渡し式を行い、中津市民、大分県民に愛されるブランド牡蠣となるよう祈念した。  
現地で賞味できる「美人小屋」は、年明けの1月11日から営業する。



中津干潟シングルシードオイスター「ひがた美人」

北郡海域の潜水漁業者が利用している入会漁場であるが、環境変化等により将来豊かな漁場を利用できなくなるのではと危機感を持つようになった。そこで平成18年に「無垢島漁場を考える会」を設立し、資源管理や栽培漁業の取組を漁業者自らが考え北郡委員長会へ提言を行ってきた。また、県や海洋科学高校と連携しアワビの放流効果調査や放流手法の見直しを行っている。地区を越え、関係者で協力し無垢島を守って行きたいと発表した。

本県の実績発表は、これまでに全国大会でも高く評価されてきたが、今回の3者もいずれ劣らぬ内容のある発表であった。審査委員5名(委員長・伊藤龍星水産研究部長)による審査の結果、鶴見地域シングルシード養殖協議会が全国大会に出場することとなった。  
いずれの発表者も、これからの大分県漁業を力強く支えてくれるものと、期待が膨らむ交流大会となった。

## 第16回

## 大分県青年・女性

## 漁業者交流大会開催

14日、水産会館研修室において、恒例の交流大会を開催し、3団体が実績等を発表した。

中根組合長の主催者挨拶、県農林水産部高野英利審議監の来賓祝辞等につき、来場者を限定した会場で、対面で発表が行われた。



### 全国大会出場は鶴見地域 シングルシード養殖協議会

県漁協青年部香々地支部の石原克人氏は、「私の考える担い手の増やし方」香々地にきた経験から伝えられること」と題し発表。香々地地区では、刺し網やカゴ漁、潜水、底曳き等で、特産品の岬ガザミやマダコ、ナマコ、ハモ等を漁獲しているが、高齢化と組合員の減少に伴い、新規就業者を県内外から募集している。県外から香々地地区にきた第一号の自身の実例を元に、担い手の増やし方について発表するとともに、新規就業者として着業を検討している方へ向け提言を行った。

### 第16回大分県青年・女性漁業者交流大会



(左から)吉良氏、野田氏、中根組合長、石原氏、足苺氏

次いで、県漁業士連絡協議会潜水部会の野田新氏と吉良学氏は「地区を越え、みんなで守る！〜無垢島入会漁場における取組〜」と題し発表。無垢島

最後に、鶴見地域シングルシード養殖協議会の芦苺誠仁氏は「水産業三足の草鞋〜漁船漁業の未来のために！カキ養殖と海底熟成酒の取り組み〜」と題し発表。佐伯市鶴見は漁船漁業が盛んであるが、漁獲減少や資材高騰による収入減が課題である。そこで、様々な漁業種類のメンバーで令和2年に協議会を設立。各々の空き時間を利用して、協働で、海面での「マガキ養殖」、海底での「熟成酒」の取り組みを開始、海の立体的活用を図っている。従前の主漁業を継続しつつ、2足目、3足目の新たな取り組みにより、地元産業とも連携しながら、漁業収入の向上を目指す報告した。

# 水 研 だ よ り

## 和田宗一郎研究員が学位(博士)取得



### 農林水産研究 タイムリー情報

県のHPにも試験研究現場の旬な情報が掲載されています。

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

大分県農林水産研究指導センター水産研究部資源増殖チームの和田(旧姓山本)宗一郎研究員は、当研究部浅海・内水面グループ在職(H27年4月～H30年3月)時に、漁獲量の減少が著しい周防灘・伊予灘のマコガレイの成魚・稚魚の生態について調査しました。この時の研究を基に、令和2年4月に愛媛大学大学院連合農学研究科(博士後期課程)に入学し、令和4年9月に「生息南限海域に分布するマコガレイの生態に関する研究」を論文題目とし学位を取得しました。

今回の研究では、周防灘で初めて豊後高田市の長崎鼻地先を産卵場と特定しました。この産卵場の周囲は岩石が点在し、卵は粗砂帯で多数みられ、ここで生息する成魚20尾(雄11尾、雌9尾)の行動を解析した結果、産卵を行う個体はこのうちの約10%であり、一部の個体は広域に移動することを明らかにしました。

また、周防灘に生息する成魚2個体の経験水温・深度の観測を実施した結果、9月の主な経験水温は23～26℃、主な経験深度は0～5 mと、適水温(5～22℃)を超える浅場で生息しており、推定分布域は国東半島北岸で、豊富な餌料環境が分布に関係していると推測しました。

さらに、国東半島沿岸に生息する稚魚は適水温を超える高水温環境下では餌料豊富な場所に生息していることも明らかにしました。

今回の研究成果によって、マコガレイを増やすための資源管理、漁場造成、種苗放流等の施策に反映されることが期待されます。



### 大分海区漁調委 第14回委員会

12日、県水産会館5階研修室において、第14回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案では「知事許可漁業の制限措置及び申請期間並びに許可の有効期間について」知事の諮問を受けた。許可の有効期間満了に伴う「小型機船底びき網漁業手繰第2種こぎ網漁業(山口県漁業者)」並びに「漁業者からの要望に伴う「小型機船底びき網漁業手繰第2種なまこぎ網漁業(県内漁業者)」について、許可の有効期間の短縮を

含め、知事に問題ない旨を答申することに決した。

第2号議案では「知事管理漁獲可能量の設定について」知事の諮問を受けた。まあじ及びまいわし太平洋系群に関する令和5管理年度における知事管理漁獲可能量を次のとおりとする。このことについて、知事に問題ない旨を答申することに決した。

- (まあじ)
  - ・大分県まあじ中型・小型まき網漁業区分：2080トン
  - ・大分県その他のまあじ漁業区分：現行水準
  - (まいわし)
  - ・大分県まいわし漁業区分：現行水準
- また、その他の事項として、「別府湾南部海域におけるまきえ釣り等の承認について」及び「令和4年度海区漁業調整委員会等の開催状況及び今後の予定について」報告を受けた。



### 瀬戸内海広域漁調委 第45回委員会

第45回瀬戸内海広域漁業調整委員会が9日、神戸地方合同庁舎を拠点にWEB開催され、広域魚種の資源管理、太平洋クロマグロに関する委員会指示等について協議した。

冒頭、不在となっていた会長に農水大臣選任の今井一郎委員を互選した。

広域魚種はサワラとトラフグについて、2021年の資源評価結果と漁獲管理措置等について確認した。サワラ瀬戸内海系群の資源量は前年を上回る10218ト、漁獲割合は26%、親魚量は増加傾向を続け6271ト

と推計された。また、海域別、漁業種類別の管理措置が説明されたが、はなつぎ網による大量漁獲を懸念する発言があった。トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源量は過去最少の721ト、漁獲割合は26%、親魚量は減少傾向の464トと推計された。管理目標である2027年漁期の資源量

840トとは依然乖離している。太平洋クロマグロについては、来年3月末を持って現行の委員会指示が失効するため、承認制の更新並びに「承認制の違反者への対応及び処分方針」等を内容とする新たな委員会指示を同日付で発出することに決した。その他、TAC魚種拡大に向けた検討状況、令和5年度関係予算の説明があった。海区代表委員からは、遊漁者によるタコ釣りや資源に及ぼす影響を懸念する意見が出され、学識経験委員から海面利用協議会等で調整されている例が示された。

# 今後の信用事業の在り方等について

## 第8回理事会で議論

22日、第8回理事会を開催した。監査制度の変更に  
対応した規程類等の整備について上程するとともに、早  
期指導先による改善計画や今後の信用事業の在り方に  
についても議論した。

第1号議案「組合員の異動に  
ついて」では、准組合員から正組  
合員への資格変更3名、准組合  
員への加入6名について承認し  
た。

第2号議案「会計監査人監査  
の移行に伴う課題と改善対策に  
向けた規程類等の整備について」  
では、これまで実施された監査  
工数調査で明らかとなった課題  
を踏まえ、規程類等の整備につ  
いて承認した。

また、協議・報告事項として、  
「早期指導先による改善計画  
(案)の策定に向けた取組につい  
て」、「余裕金の運用状況報告に  
ついて」及び「今後の信用事業の  
在り方について」議論した。

改善計画(案)については、目標  
増資を達成するための具体案を  
示すよう求める意見が出され  
た。新規加入の際の最低出資額  
の増額や、固定資産取得時の受  
益者による見合いの増資などが  
今後の焦点となりそうだ。

今後の信用事業については、①  
信用実施店舗(信用コスト)の見  
直し、②会計監査人監査(法規  
程)からの回避、③信用事業議  
渡等について、具体的な選択肢  
を提示し、役員の意見を求め  
た。会計監査人監査からの回避  
については、満期を迎える公金  
等の大口定期貯金の今後の取扱  
にも係ることから、1月24日  
開催予定の第9回理事会で理事  
の判断を求めるとした。

### 会計監査人監査とは

水産業協同組合法の一部改正に  
より、信用事業の健全性を確保す  
るため、信漁連及び一定規模以上  
(令和4年度末で貯金等合計20  
0億円以上)の漁協は、従来の全漁  
連による監査に代わり会計監査人  
による監査を受けることが義務付  
けられ、令和5年度総会後から実  
施される。大分県漁協の預金残高  
は250億円前後で推移しているこ  
とから、現状では会計監査人監査  
の対象となる。

サカナをたべれば  
幸福が見えてくる



## ウオメシ

今回のウオメシは竹田市  
「友修」の登場です。  
中九州横断道路が延びて  
益々便利になった豊後大野  
竹田。点在する道の駅も楽し  
みで、結構足が向きます。  
お昼ご飯の定番はここ。ウナ  
ギやエノハなど淡水魚を中心  
にしながら、大海老天丼やお  
寿司などストライクゾーンが  
広いお店です。今回注文した  
のは「えのは姿寿司」880円  
也。頭から美味しくいただき  
ました。

### 編集後記

たぶん土曜日、大分市内の温  
泉施設が原因だと思ふ。若者の  
集団が大声で話しながら入浴し  
ており、一抹の不安を感じた。  
月曜日に寒気と微熱があり駅  
前の抗原検査に行くも、ここで  
は陰性。当日の忘年会には証明  
書を持参して参加した。結果誰  
にも感染しなかったが、翌日陽  
転した。  
自宅療養中も現在の後遺症も  
ほとんどないが、1週間のプラン  
クは大きい。今回掲載できな  
かった記事は、次号に送ります。

# 特殊詐欺

こんな  
手口もある!

## 「うまい話」「もうけ話」に落とし穴!

### 金融商品等の取引を名目にした詐欺

電話やパンフレットで「絶対にもうかる」「あなたにしか買えない」「高値で買い取る」などと利益を強調して、未公開株や社債、外国通貨などの購入を勧め、現金を騙し取る詐欺



### ギャンブル必勝情報提供等を名目にした詐欺

電話や電子メールで、パチンコや競馬の攻略方法、ロト6等の当選番号情報を提供すると勧誘し、会員料や情報料として現金を振り込ませて騙し取る手口の詐欺

### 異性との交際あっせん等を名目にした詐欺

雑誌やインターネットなどで、「恋人紹介」等の広告を掲載して顧客を募集し、申し込んできた相手に対して、「会員登録料」や「保証料」などの名目で現金を振り込ませる詐欺



## 他にもある! 被害を防ぐキーワード!

こんなことが出たら… **詐欺**

- 「お金はレターパック(宅配便)で送って」
- 「急いで振り込んで」
- 「現金を自宅まで取りに来る」
- 「払わないと裁判になる・逮捕される」



こんな勧誘は……… **注意**

- 「必ず儲かる」「元本保証」
- 「外国通貨購入しませんか」
- 「太陽光・風力発電会社等への出資・社債購入」
- 「短期間での高配当」



- 警察総合相談 / ☎9110 または 097-534-9110
- 各警察署の警察安全相談
- 県消費生活センター / ☎097-534-0999
- 消費者ホットライン / ☎0570-064-370

### 大分県・大分県警察

(この項目は県漁業管理課の要請を受けて掲載しています)

一大分県安全・安心まちづくり推進本部 -  
Tel 097-534-2038